



北中 HP へ

自立の心で、共生と貢献の未来へ

本校では一年間、「自立・共生・貢献」の三つの力を育むことを目標に掲げてきました。学年末の節目にあたり、みなさんの歩みを振り返ってみたいと思います。

卒業を迎える3年生のみなさんは、自らの進路を切り拓くために自らを高め、主体的に物事に取り組む「自立」の姿を見せてくれました。また、行事や部活動では、多様な個性を認め合い、高め合う「共生」の精神を大切にして活動してくれました。そして、委員会活動や後輩への助言を通して、学校全体を支える「貢献」の喜びを知ったはず。中学校生活で磨いたこの三つの力は、これからの予測困難な社会を生き抜くための確かな道しるべとなります。胸を張って、新しい舞台へ羽ばたいてください。



1・2年生のみなさん。先輩たちが築いた伝統のバトンを受け継ぐ時が来ました。進級とは、より高い「自立」が求められるということです。仲間と手を取り合う「共生」の心を大切にしながら、自分に何ができるかを考え、行動する「貢献」の姿勢を磨いてください。四月からの新しい自分を想像し、今の学年のまとめをしっかりと行いましょう。



十数年前、中学校を卒業した長女から一通のメールが届きました。そこには卒業の喜びとともに、私たち両親への感謝の言葉がつつられていました。私はその返信でこんな言葉を贈りました。『**幸運は用意された心の中に宿る**』これはフランスの細菌学者、ルイ・パスツールの言葉です。私はこの言葉を、「**幸運とは、単に運が良い人に訪れるのではなく、普段から準備を怠らず、それを受け取る努力を続けてきた人だけが手にできるものだ**」と解釈しています。当時の長女の頑張りたたえ、将来の夢に向かって歩み続けてほしいという願いを込めて贈りました。

「幸運のための用意をする」とは、具体的にどういうことでしょうか。それは、今日「やるべきこと」に、自分なりに精一杯向き合うことではないかと思えます。一日一日を大切に生きること。それは、決して「常に全力で走り続けること」だけではありません。ときには無理をせず、疲れたら弱音を吐いて立ち止まってもいい。大切なのは、休んだあとにまた、自分なりの小さな挑戦を積み重ねていくことです。その歩みを止めない姿勢こそが、いつか訪れる「幸運」という名のチャンスをつかみ取るための、何よりの「用意」になるのだと考えます。
(校長)

保護者の皆様。一年間、本校の教育活動に温かなご支援を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。生徒たちが「自立」した一人の人間として歩み、他者と「共生」しながら、社会に「貢献」できる大人へと成長できるよう、今後とも教職員一同、精一杯、力を尽くしてまいります。

3月のおもな予定

3月 4日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 公立高校合格発表 再募集出願(～9日) 1, 2年 実力テスト 	16日(月)	1年 親子進路学習会
		18日(水)	大掃除
		19日(木)	2年 親子進路学習会
		24日(火)	(小学校卒業式)
12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式全体練習 卒業式準備 	26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 修了式 離任式
13日(金)		27日(金)	学年末休業日(～31日)
		4月 1日(土)	学年始休業日(～6日)
<p>第79回 卒業証書授与式 開式 午前9時10分</p>		※令和8年度 始業式・新任式 入学式 4月7日(火)	